東京芸術文化評議会「文化都市政策検討部会」報告 平成23年6月8日

芸術文化の創造発信拠点としての都立文化施設(都立文化施設の機能強化)

機能強化・基盤整備

(検討事項)

(主な論点)

自主事業の財源確保

○ 創造性の高い自主事業、人材育成事業等、新たな取組に対する都の財政支援 など財源確保の方策

人材育成機能の強化

○ 文化施設におけるアーティスト育成事業のあり方

○ アートマネージメントや技術系のスタッフ養成における施設の役割

収蔵品の充実

- 美術館・博物館における収蔵品収集のあり方
- 安定的収集のための仕組みづくり (継続的な予算措置、購入費基金化、収蔵品売却等)
- 収蔵スペースに関する中長期計画の策定(外部賃借、共同収蔵庫の確保等)

ミッション・事業内容の再構築

(検討事項)

(主な論点)

観光資源としての文化施設のあり方

○ 外国人観光客やコンベンションの誘致方策 ○ 賑わいの創出や東京、日本らしさの演出等

都が設置する各美術館の役割の整理

- 東京都現代美術館、トーキョーワンダーサイト、東京都美術館の連携による現代作家 支援事業
- 東京都写真美術館と他館での写真・映像分野における連携

江戸東京博物館の展示事業の強化

○ 江戸東京博物館の魅力向上策(参加・体感型の展示、伝統芸能の体験可能な場の 設定、研究成果を強くアピールするための常設展示リニューアル等)

東京文化会館の音楽事業の再構築

- 貸館事業と自主事業のバランスの見直し
- アーティスト育成の核となる事業の再構築 (東京音楽コンクール等)
- 東京芸術劇場の音楽事業等との連携強化